

新宿滞水池の上部利用について「第1回ワークショップ」 議事概要

- 開催日時： 平成25年5月11日（土）9:00～12:00
- 開催場所： 市役所5階 第7会議室
- 参加者： 市民14名
- 市出席者： 環境都市部：上石部長、河川下水道課：鳴海課長、萩原副主幹、高橋主査、清水主事、市民協働課：木下市民協働コーディネーター
- 配付資料： ①ワークショップ次第
②新宿滞水池平面図・断面図（今回検討箇所を赤で着色）

■議事

1. あいさつ（上石部長より）

2. ワークショップの進め方について

木下市民協働コーディネーターが、ワークショップの進め方について説明を行った。

- ・ ワークショップは全部で3回予定している。
- ・ ワークショップの結果を市民からの提案として市長に提出し、最終的には市長が判断することになる。
- ・ 市民から提案文書をもっているが、まずは自由に発想してもらうためにもここでは紹介せず、最後に皆で確認する形としたい。

3. これまでの経緯と上部利用の条件について

河川下水道課より新宿滞水池の目的、現在の工事の状況、工事完了後の上部の状態、上部利用の条件について説明を行った。

- ・ 配付資料②の図面で赤く囲った部分が今回の利用の範囲。そのうち赤丸で囲った4箇所については滞水池管理のため空けておく必要がある。その他に作業車両が通行するためのスペースを確保する必要がある。
- ・ 上部利用の条件について、配付資料①の吹き出し部分の内容を説明

【質疑応答】

市民 ワークショップの話合いの内容はホームページ等で公開する予定か。今回参加した人数が少ないため、次回以降もっと参加してもらえるように宣伝する必要がある。

市 ホームページ等に掲載することは可能である。

市民 上部利用について市長が決定して、議会に提出されるまでの期間はどのくらいか。
市 ワークショップ最終回が7月であり、パブリックコメントを8月に行い、9月頃に予算の枠組みを決めることになるので、それまでの期間である。

市民 今回のワークショップについて、市民への広報はどのように行ったか。
市 広報誌5月号、掲示板、ホームページにより行った。

市民 利用の際の条件について、「生活環境に配慮」と「予算は最小限に」とは具体的にどのようなものか。

市 生活環境については、マンションや隣接した戸建ての住人に対して、ゴミの問題や1日中人がいて騒音等の問題で困る様になる事は、市としても控えなければならぬと考えている。
予算に関しても現時点で金額を提示するのは難しい。

市民 管理は河川下水道課が行うのか。

市 内容にもよるが、駐車場なら道路用地として都市整備課、緑地、公園等であれば河川下水道課が行う予定である。

市民 最初の設置だけでなく、維持管理のための費用も出してもらえるのか。

市 費用の内容にもよるが、検討可能である（純粋な維持管理費は必要経費として出さざるを得ないと考えている）。

市民 図面での地表面は盛土をする前のものか。以前の説明会では木を植える場合は60cm程度盛土が必要と聞いたが。

市 場所によっては盛土をしなくても植栽が可能である。

市民 ワークショップの結果が市長の判断で覆されるということはないのか。

市 多少の修正はあり得るが、全面的にということはない。

市民 滞水池入口脇の管理車両の駐車スペースはずらすことが可能か。ちょうどこの部分が川沿いの道につながるルートである。

市 ワークショップの結果を踏まえて検討したい。

4. ワークショップ

ワールド・カフェ方式を用いて検討。

テーマ：「あの場所にあるといいなと思うもの」

まずは、各グループで「私のお気に入り in 逗子」をテーマに自己紹介。

その後、参加者が上のテーマについて3-4人のグループごとに話し合い、模造紙に思いついたことを書き出していった。メンバーを入れ替えて3ラウンド行った後、グループごとに「これだけは」という部分をまとめて発表。

1班

- ・ 場所的にも逗子の顔となり得る貴重な空間。「緑」のスペースとして是非活用したい。
- ・ 市役所内「青い鳥」のような小さなカフェがあるのもよい。
- ・ 管理をどうするかという問題がある。



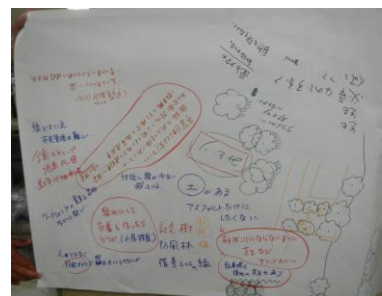
2班

- ・ 全面池や田などに。
- ・ 緑が欲しい。
- ・ 海岸に来た人のための駐車場も必要。
- ・ 管理をしっかりして住環境の保全を。



3班

- ・ 全面アスファルトにはしてほしくない。駐車場とした場合にも緑が欲しい。
- ・ 管理人が常駐できなくても防犯カメラという手も。
- ・ 緑地プラス交番ではどうか。



4班

- ・ 管理をどうするかというのが一番の課題。
- ・ 駐車場の一部を緑化するという案もある。管理の仕組みをつくるのが重要。
- ・ カフェを設置すると管理しやすいのでは。民間の事例を参考に(例：佐賀のスターボックスとツタヤの例など)。
- ・ 交番を設置する。



5. まとめ

木下市民協働コーディネーターよりまとめ。各班に共通した意見は：

- ・ 緑のある場所にしたい。
- ・ 管理が必要。そのために駐車場、カフェなどからの料金収入も必要か。

その後全員で集まり、初めに紹介した市民の提案書の内容について説明。その他に、言い足りないこと等意見を出し合った。

- ・ 駐車場の要望としては、マンション居住者・来客者用と夏場の渋滞緩和のためのものがある。
- ・ 緑を取り入れた形での駐車場もよいのではないか。
- ・ 各選択肢について、工事費・維持管理費としてどのくらいの費用が必要となるか、大雑把でいいので示してほしい。

次回ワークショップに向けて、事務局で次の作業を行うことを説明。

- ・ ワークショップで出た意見をまとめる。
- ・ 各選択肢の概算費用について検討する。
- ・ 交番の設置が可能かどうか調べる。